

# マルチメディア情報流通技術を応用した コンテンツビジネスへの取組

緑川哲史\* 前原秀明\*\*  
大樫仁司\* 渡邊隆俊\*\*\*  
磯西徹明\*

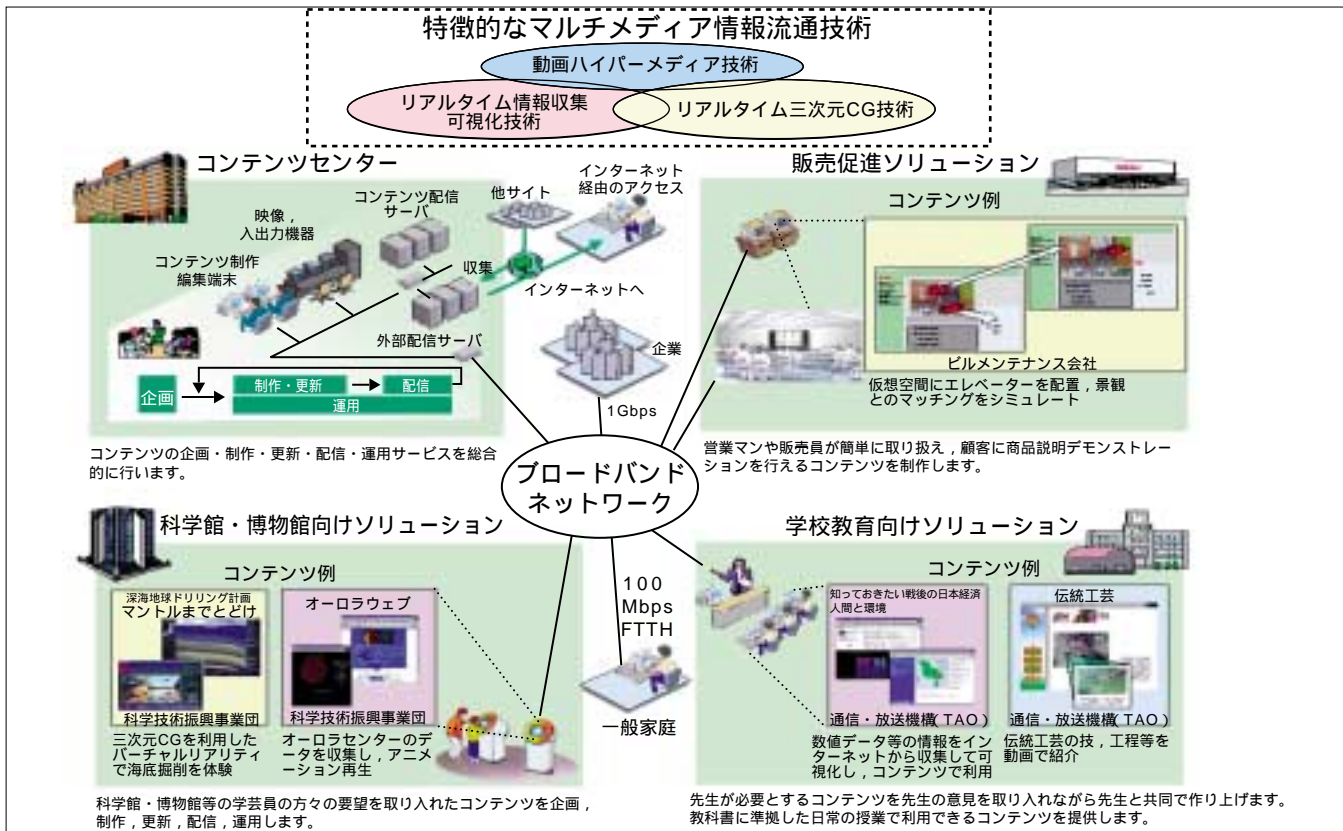
## 要旨

郵政省(現総務省)は、21世紀を迎えるに当たって、次世代ネットワーク基盤の構築と、そこで提供される新サービス実現のために「次世代ネットワーク構想に関する懇談会」を開催し、1999年6月にその報告書を取りまとめた。その中で、インターネットの普及に伴い、“ネットワークがアプリケーション、コンテンツを規定する時代”から“アプリケーション、コンテンツがネットワーク構築をリードする時代”、つまり、ネットワーク上を流通するコンテンツ中心の時代へ転換すると展望している。

三菱電機(当社)では、この展望を踏まえ、近い将来のブロードバンドネットワーク上で展開される教育・文化・行

政などの公共サービス、全国に販売店網を持つ企業の製品販売促進サービス等をターゲットに、高速なネットワークを効果的に活用したネットワーク型コンテンツを中心としたサービスソリューションをお客様へ提供している。

本稿では、当社が指向する学校教育向けソリューション、科学館・博物館向けソリューション、販売促進ソリューションを紹介するとともに、ネットワーク上を流通するコンテンツに新しい付加価値を生み出すために当社がパートナーと共同で開発した動画ハイパーメディア技術、リアルタイム情報収集可視化技術、リアルタイム三次元CG技術、リアルタイム三次元コンピュータグラフィックス技術とその適用事例を紹介する。



## コンテンツの企画・制作・更新・配信サービスソリューション

動画ハイパーメディア技術、リアルタイム情報収集可視化技術、リアルタイム三次元コンピュータグラフィックス技術などブロードバンドネットワークを意識したマルチメディア情報流通技術を用い、学校教育、科学館・博物館、企業の販売促進のためのコンテンツの企画・制作・更新・配信・運用サービスを総合的に行う。